



©村田行

これまでの課題①

## ヤマネコの交通事故

7月まで無事故だったヤマネコの交通事故が、8月1、2日と連続で兄弟と思われる仔ネコ2頭の死亡事故発生。新型コロナウイルスの緊急事態宣言後で交通量も増加。

Achievement  
成果

1 ヤマネコの目撃多発地点で注意喚起を定期的 to 実施  
事故現場近くで親ネコと思われるネコの出没が続き注意喚起を行った。その後もLEDライトの点灯で光る看板や、のぼりも導入。目撃多発地点での注意喚起を定期的に行う。



2 県道の除草作業実施  
ヤマネコの目撃多発地点での除草作業の継続。環境省職員、パークボランティアとの合同除草作業も恒例となり、今年度は特にヤマネコの目撃情報が多く、雑草が繁茂しやすい地域を集中的に作業。



3 ヤマネコのいるくらし授業 教員研修会実施  
西部の小中学校だけでなく、東部の大原中学校でもヤマネコ授業を実施。教員研修会(竹富町教育委員会と共催)もオンラインにて実施。



4 竹富町条例で定めた「イリオモテヤマネコの日」(4月15日)オンラインイベント開催  
今年度は「知ろう!守ろう!イリオモテヤマネコ」(後援:環境省西表野生生物センター、竹富町教育委員会)を、クイズや動画を交えてオンラインで開催。



これまでの課題②

## 生息地のかく乱

西表島が世界自然遺産へ登録され、懸念される将来的な観光客増。だが、ツアースポットへの人数制限はまだ実施されず、入島観光客数の制限が実現するかどうか不明。



Achievement  
成果

1 世界自然遺産登録に伴うオーバーツーリズム対策について政策提言  
沖縄県による観光管理計画が西表島に入る観光客の総量規制を事実上放棄したことが深刻な結果を招き得ることを指摘し、具体的な対策案を提言。

残された課題

今後の観光客増加に向け、ヤマネコの交通事故の増加を防がなければなりません。また、オーバーツーリズム対策として実効性を持ったものとなるよう、地元の人々と協力し行政への働きかける必要もあります。このような動きを教育を通じて島の子どもたちに考えてもらうことも重要です。そのために、やまねこパトロールの装備を大幅にリニューアルするとともに、活動体制の強化をはかる必要があります。

引き続きのサポートをお願いします。